

FJISS 温室効果ガス削減技術概要情報

企業名	GHG 削減技術カテゴリ	対象施設等	FJISS 登録年月
株式会社日水コン	サービス提供	処理場・ポンプ場	2022年6月

項目	内容
商品（製品）名	下水道における地球温暖化対策推進計画の策定支援
特徴	令和3年5月の改正温対法、同年10月の「地球温暖化対策計画」を踏まえ、 ・下水道部門の2030年の取組目標（省エネ、創エネ、再エネ、N ₂ O削減）及び2050年カーボンニュートラル実現道筋の検討 ・「地球温暖化対策計画（区域施策編）」への下水道施策反映のための検討を行います。
仕様	—
推奨規模 設置個所等	—
省エネ、CO ₂ 削減性能等	—
導入実績	平成29年度 下水道事業における温室効果ガス排出削減計画の見直しに関する調査業務委託（名古屋市） 平成30年度 下水道事業における地球温暖化対策基本計画策定業務委託（川崎市） 令和3年度 下水道分野における温室効果ガス削減に向けた検討業務（国土交通省）
技術認証登録等	—
詳細情報 URL	—
問い合わせ先	コンサルティング本部環境・資源部 TEL: 03-5323-6270

検討フロー

①基礎調査

②既計画の把握、現状分析

③対策の検討

④計画の策定

対策の検討結果（イメージ）

対策	対象施設	下水道部門の削減効果 (t-CO ₂)	他部門での削減量 (t-CO ₂)
○省エネルギー対策			
・ 運転方法の改善	○○処理場	XXX	—
・ 高効率機器の導入	○○処理場	XXX	—
○創エネルギー対策			
・ 消化ガスの活用	○○処理場	XXX	YYY
・ 固形燃料化	○○スラッジセンター	XXX	YYY
・ 焼却廃熱の利用	○○スラッジセンター	XXX	—
○再生可能エネルギー			
・ 太陽光発電の導入	○○処理場	XXX	—
・ 下水熱の利用	○○地区	0	YYY
○N₂O直接排出の削減			
・ 新型炉への更新	○○スラッジセンター	XXX	—

下水道事業における処理水量、燃料等の使用量、創エネ、再エネの取組実績について整理します。

現行の「下水道地球温暖化対策計画」等について把握し、進捗状況の評価を行います。また、現状の温室効果ガス排出量について分析します。

右の表に示す対策について、温室効果ガスの削減効果を試算します。また、地方公共団体実行計画にも活用できるように、他部門での削減量も検討します。

汚泥焼却 N₂O
 ポンプ (電力)
 燃料
 水処理・汚泥処理 (電力)
 温室効果ガス排出量の内訳

注) 本技術の内容は、企業からの情報をそのまま掲載しており、FJISS が保証するものではありません。